

2021 年度 北海道医療大学看護福祉学部看護学科総合型選抜

グループ討議課題

課題：新型コロナウイルス感染症の「負のスパイラル」を断ち切るために

日本赤十字社によると、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、次に示す“3つの顔（感染症）”をもっていて、これらが「負のスパイラル（連鎖的な悪循環）」としてつながることで、さらなる感染の拡大をもたらすとしています。

第1の感染症は、「病気そのもの」です。

第2の感染症は、「不安や恐れ」です。

第3の感染症は、「嫌悪・偏見・差別」です。

この感染症の怖さは、「病気」が「不安」を呼び、「不安」が「差別」を生み、「差別」がさらなる「病気」の拡散につながるため、このような「負のスパイラル」を断ち切るためにも、“それぞれの立場でできることを行いましょう”と働きかけています。

（森光玲雄監修：新型コロナウイルス感染症の3つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～、2020年3月26日、日本赤十字社新型コロナウイルス感染症対策本部。 http://www.jrc.or.jp/activity/saigai/news/200326_006124.html）

上記の内容を読み、以下の設問（問1、問2）について、グループで話し合ってください。

問1 新型コロナウイルス感染症の“3つの顔（感染症）”とは、それぞれどのようなことだと考えますか。さらに、これらが「負のスパイラル」としてつながるのは、なぜだと考えますか。具体的に述べてください。

問2 新型コロナウイルス感染症の「負のスパイラル」を断ち切るために、どのような行動をとることができますか。あなたの考えを述べてください。

課題レポート問題

グループ面接課題「新型コロナウイルス感染症の“負のスパイラル”を断ち切るために」について、
討論した内容について要約したうえで、課題に対するあなたの考えを 1,200 文字以内で述べなさい。